



著者プロフィール

西田もとつぐ（にしだ・もとつぐ）

1934 年 兵庫県西宮市生まれ。

甲陽学院中学校・高等学校を経て、早稲田大学教育学部社会科卒業。

芦屋大学附属高等学校社会科教諭を 40 年間勤める。

俳句は中学時代、国語科村上千秋氏に手ほどきを受け、高校時代に学友と「甲陽学院あかね俳句会」を結成。高校卒業後、長い中断を経て石田波郷没後の「鶴」「万蕾」に参加。二、三の俳誌を経て、「船団」「雲の峰」「ににん」に参加。大阪俳句史研究会監事、芦屋ユネスコ協会常任理事などを歴任。俳人協会会員。「京大俳句」を読む会」代表。研究論文「石橋秀野」（『大阪の俳人たち 5』和泉書院）。『兵庫県ゆかりの俳人たち』（柿衛文庫）西東三鬼の項執筆。「久保栄の俳句」「旅愁における日本的なもの一横光利一の俳句」「くれなゐの座布団」「キメラの国の俳句」（以上、『俳句文学館紀要』）。「戦争俳句と大陸俳句」他（『大阪俳句史研究会紀要』）。『近畿ふるさと大歳時記』（角川書店）解説執筆。

著書に『石橋秀野の世界』（和泉書院、2002 年）。

〈『満洲俳句 須臾の光芒』より転載〉

〈2020 年 12 月 15 日時点〉